

# ふるさと公園応援隊 かわらばん

第 126 号

(初刊：2011 年 11 月 6 日)

発行日：2022 年 04 月 10 日

発行元：ふるさと公園応援隊

編集責任者：深澤 満

## 春だ～！ 新規参加者続々と✌

**3月の定例作業日(3/29)**、この日、前日とは一転して花曇り・花冷えの一日となりましたが、3/10に引き続き新規参加者もあり、総勢15名。林内班9名、ゴミ拾い6名で作業開始。

林内班は、1期・2期作業区域境界付近において、主に3/12に伐採したものを、パッカー車の積み込み場所まで運搬する作業を行いました。

ゴミ拾い班は、第二駐車場～桜木神社通り～霊園通り（鶯、ウグイスカグラ）～湿地（水無しわずかな湿りのみ）と進み、ゴミの量も少なかったため、新園路を巡回し、終了後は林内班に合流。コース記号は、

イ-K-L-M-N-d-A-g-b-b'  
-W-B-C-U-C-ロ-新園路-K-M。

特筆事項は、一軒家前のゴミが少なくなっていたことです。



[3/29 集合写真]

まずは、ゴミ収拾班の**フミリンさん**からです。

『所沢のあちこちの桜の花が

満開になって、休日ではない火曜日ですが、カルチャーパークに向かう道々に咲く桜を見物したり、写真に撮る人の姿を目にしました。コロナ禍でお出かけの機会も減っている中、近所の桜の開花は心を和ませてくれます。カルチャーパーク入口の枝垂れ桜も清々しく咲いていました。

2月は孫の子守りで欠席でした。3月はさすがに寒さも和らいで活動には打って付けのお日和です。参加者は総勢15名とか。公園に掲示されたチラシや「翔びたつ広場」の募集を見て活動に参加された方もいて、少しずつ活動が広がっていることを感じとてもうれしく思います。

園内は造園業者による作業が着々と進み、遊歩道が雑木林の中を巡って導き、大きな立ち木には「クヌギ」「コナラ」「ヤマザクラ」やその他の珍しい名前が名札が取り付けられていました。「管理棟」や「湿地」などと書かれた立派な「道しるべ」もあって、素晴らしい変わり様でした。しかも、「道しるべ」のある所には伐採した木を利用して切り株の「腰掛け」が数個設置されました！一歩も踏み込めない笹藪ばかりのカルチャーパ

ークだったころとは雲泥の差です。思わず歩いてみたくなる遊歩道が出来上がりました。高低差もあって、クッション性抜群のこの遊歩道を歩くと脚力も付くように思います。高齢者のフレイル予防にもなります。

行政がその気になって予算が付いて整備されるとすごいですね！ボランティアの手だけでは何年かかってもこうは行かないでしょう。ただ、この先の維持管理が肝心です。その方面ではボランティアの参加は不可欠に思います。

今日は霊園通りの投棄ゴミも見当たらず、園内のゴミも少なく、散策目的に来園したようでした。午前11時にはゴミ拾いは終わられたので、林内作業班の枝拾いのお手伝いも少しできました。今後もゴミ拾いの必要がない公園になり続けられたら本当に素晴らしいです。』



[3/29 新園路に行く]

次は、**水島さん**からです。

『花冷えのする一日でした。

カルチャーパークの木々はうっすらと緑がかかってきていて、若い芽が出始めているのが見られました。

**Spring has come!** そして若葉が出て新緑の季節がいよいよ来るなと思うと、次にカルチャーパークを歩くのが楽しみでわくわくしてきます。

今日のゴミ拾い班は6名、林内作業の様子を見ながら、新しく出来た駐車場から桜木神社に向けて歩きました。

ほとんどゴミがありません。

これだけ少ないのは久しぶりではないかと思われま

す。好ましいことですがいつもの一軒家のまへの藪の中にはいくつかのゴミ袋が見受けられましたが、市のほうですでに回収したのかもしれない。

滞水地の角から墓地に向かう坂道の両側にもほとんどゴミみっからず（先月は藪の中に散らかせられた大量のゴミがあった）いささか拍子抜けの気がしましたが良い傾向です。

今回は狭山線沿いを歩いてポイ捨てのゴミを拾おうかと話していました。

滞水地に水はまったくありません。前から市に提案している本格的に池を作り、魚や鳥が集う水辺を見たいものです。

しかしいつ歩いても滞水地の景観はほっとして心が休まりません。4月の末には若葉さす緑に囲まれ、そして小鳥のさえずり

の聞こえる、春爛漫のカルチャーパークを期待したいと思いました。』



[3/29 ゴミ集約]

~~~~~

### **3月の第二作業日(3/10)は、**

当日の朝、出かけるころはひんやりしていましたが、陽射しがあり作業を始めると暖かくなってきました。

参加者は11名、うち2名は初参加。ゴミ拾い4名、林内作業7名で作業を実施。

ゴミ拾い班は、園内を一周するつもりで、東西通り-東京狭山線-サッカー場-湿地と進んで行きましたが、ここでゴミ袋が各自手一杯に。さらに霊園通りでは前回の積み残しもあり、桜木神社通りの南側にも、園芸残土などがあり、リヤカーを取りに行き、収集物を積み込み、中央通りを戻りました。

すなわちコース記号は、イ-K-J-I-H-G-0(0')-P'-a-a'-ロ-C-B-W-b'-W-B-L-K。

その他の特記事項は以下の通りです。

- ①駐輪場の前に案内板が設置されていた。
- ②新園路の分岐点などに案内標識。(当日時点では案内文字が書かれていない)

③園路脇の刈り込みがされている。

④樹の名前の札がつけられている(先月から)。

⑤「湿地」は、遠目に見ても干からびている。

⑥築山周辺の遊具工事が進んでいる。

⑦東京狭山線からサッカー場に通じる階段道で、自転車により破損した個所(一段)を確認。



[3/10 集合写真]



[3/10 新園路・ベンチ・道標]



[3/10 園芸残土はこちらへ]



[3/10 ゴミ集約]





[3/10 階段破損箇所]

以下、**三浦さん**からの報告です報告です。

『この日の最低気温2度、最高16度、ほぼ晴れ予報の第二活動日だ。

向かう途中、何時も気になっている桜木神社通りの一軒家前の不法投棄の現場に立ち寄るが、依然大量のビニール袋がそのままの状態だ。また、森を開作して造成された幾筋もの散策路の入り口付近に案内表示がされたが、未だ通行禁止状態のままだ。

原っぱ広場では目下、ローラー滑り台の工事、井戸掘りが終わり手動の汲み上げポンプの据え付け、築山の芝張りなど年度末竣工を目指して追い込みの真最中。

その中で広場を囲む「河津桜」がひとときわ目につく。独特の濃いピンクが春の到来を告げるかのように蕾を膨らませ満開が間近であることをアピールしているかのように見える。

集まった人数は11人。この日、市の広報「とびたつ広場」の募集広告に応募し初参加の民間企業の方が二人加わって全部で11人となった。

初参加者の紹介、作業前の準備体操、そして班編制だ。初参

加の二人の方には公園の全貌を見ていただく為、ゴミ収集班(4人)に入っていた。残る7人(女子2, 男子5人)が林内作業班となった。

この日の作業内容は、前回までのやり方を少し変えて見ることを提案。藪の伐採、立ち枯れの危険な樹の伐採、林内に転がる長く太い木の玉切り、刈り払い機による地表面に飛び出している切り株の処理迄は何時もどおりだが、市のパッカー車の積み込み場所までの運搬は今日はないことに。理由は運搬距離が長く過度な疲労を少しでも軽減するのが目的である。その為、伐採した枝や玉切りした幹は最寄りの場所に一時まとめて集積しておき、運搬は月末の定例作業日の戦力が多い時に全員でする事とする旨申し合わせのうえ着手した。

作業着手直後は花冷えとも思える肌寒さのため、全員上着を着たままでの作業だったが、程なく汗ばみ全員が上着を脱いで作業となった。2回ほど休憩を取った後は、道具類の置き忘れの確認、片付けをしこの日の作業を無事終えた。

この季節、林内には種類は少ないが、「ウグイスカグラ」「シュンラン」が目立つ、黄色鮮やかな「水仙」、上空に目をこらせば落葉樹の萌葱色の新芽が広がり、所々に「ヤマザクラ」の薄いピンクの塊が見える、その淡いコントラストがなんとも言えない春の訪れを感じさせる。原

っぱ広場の「河津桜」、林内の花、上空の木々の枝先と相俟ってこの季節特有の、束の間の淡い「安らぎ」を感じさせるに十分なこの日の作業だった。』



[3/10 林内作業-1]



[3/10 林内作業-2]



[3/10 林内作業-3]



[3/10 河津桜]



[3/10 井戸]



[3/10 入り口に案内板設置]

~~~~~  
 3/31 定例作業の日、霊園通りではウグイスが力づくよく鳴き、ウグイスカグラの花も咲いていました。サクラも満開で、春爛漫ですね〜。と思ったら、4月に入って寒の戻りもありましたが……。

マルハン所沢店に勤務されている方々が3/10から作業に見えて、継続的に参加していただけるとのことでした。

応援隊は、所沢市との契約(アダプトプログラム)で作業をしていますが、契約条件に「営利目的としない」という項目があります。したがって、企業から参加していただく方々にも、あくまで個人参加ということで、ユニホームの着用等、宣伝となることは「営利目的とみなされる」(公園課・市民活動支援センター)ということで、止めてもらうことにしました。

これからも、他企業の方が参加される場合があるかもしれませんが、今回の経験を活かしながら、皆さんと協力しながら活動を続けてゆきたいと思います。

(ミッチャン記)

## 年間作業予定日

4/12(火) 4/26(火:定例)、5/12(木)\*

**5/15(日)\*\*** 5/31(火:定例)、6/14(火) 6/28(火:定例)、7/12(火) 7/26(火:定例)、

8月は現場作業を休止します。

8/30(火) 応援隊懇談会を実施します\*\*\*

9/13(火) 9/27(火:定例)、10/11(火) 10/25(火:定例)

11/10(木) 11/29(火:定例)、12/13(火)

12/20(火) 応援隊懇談会を実施します\*\*\*

1/12(木) 1/31(火:定例)、2/14(火) 2/28(火:定例)

3/14(火) 3/28(火:定例)

\* 臨時作業日(林内特定作業のみ)。

\*\* 初めての休日作業を踏まえ、以降の休日作業設定を検討する。

\*\*\* 懇談会実施日は、現地作業は行いません。



## 4月の作業予定

定例作業日:4月26日(火) 第二作業日:4月12日(火)

作業時間:9:30~11:30

作業内容:ごみ拾い・林内作業

\* 持ち物:手袋、タオル、雨具、飲み物、

念のため、保険証・お薬手帳など

\* 荒天など天候不順の場合は、事前に中止連絡しますが、微妙な場合現地にて判断します。

判断に迷うときは、深澤まで[090-8014-3310]連絡下さい。

### 新型コロナの予防措置として、 以下を基本とします。

- ・ 間隔をとっての行動。(体操・作業)
- ・ マスク着用:ただし、息苦しくなったら、他から距離をとって外し、深呼吸。
- ・ 作業間隔の短縮・水分補給。
- ・ 使い捨て手袋または終了直後に洗える手袋など使用(特にゴミ拾い)。  
 なお、石鹸・消毒用アルコールは準備しています。
- ・ 当面、定例作業日の食事会の休止。

### 新型コロナ発生時の対応策

- ① 毎回参加者名簿(連絡先電話番号入り)を作成し、代表が保管する。
- ② 次の場合その都度、代表へ連絡する。(発信元は伏せて参加者に知らせる)
  - イ. 症状があり、医師から検査を指示された場合。
  - ロ. 検査を受けた時。
  - ハ. 検査結果と医師・保健所の指示
- ③ 陽性者が出た場合、求められれば、参加者名簿を保健所・公園課に提出します。



